

～学生のみなさんへ～

「新型コロナウイルス感染予防に関する学長からのお願い」

本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、対面授業を主体としながらも授業によっては遠隔授業等を組み合わせて実施してきました。また、課外活動等においても活動制限を行ってきました。この間、学生のみなさんの健康を守ることと学修を両立させるため、本学教職員一同努力をしてきたところです。

慣れない環境のもとで学生生活を送られるみなさんには、本学の対応に対してご協力をいただいていることを心から感謝します。

さて、新型コロナウイルスの感染は、感染力が著しく強いと言われている「デルタ株」の拡大によって、全国的にも、島根県内でも、急激な勢いで新規陽性者の増加が続き、感染が拡大する厳しい状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、あらためて私からお願いがあります。

（お願い その1）基本的な感染対策の継続

感染者の内訳をみると、高齢者へのワクチン接種が進んだことで60代以上の感染者が減少する一方、ワクチン接種が進んでいない20代、30代の若い世代で感染者が増加しています。学生のみなさんは、同世代の若者が感染者の大きな部分を占めている現状をよく理解し、今までにもお知らせをしてきており、マスクの着用、手洗い、手指消毒、感染対策が十分に実施されていない場所へ立ち寄らない等の基本的な取組みを継続してください。

（お願い その2）ワクチン接種の勧め

今では対症治療が進み、新しい治療法も承認され、またワクチン接種も進んでいます。

学生のみなさんの中には、自治体による接種等により、現地点で把握しうる限りでは、浜田キャンパスで約3割、松江キャンパスで約9割の方が接種を終えられています。また、出雲キャンパスでも約9割の方が接種を終える予定とうかがっています。

日本で接種が進められている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果や、重症化の予防に大きな効果があると言われています。

一方、みなさんの中には、ワクチンの安全性や有効性への疑問、副反応への不安、デマ情報への戸惑い等があることは承知していますが、正しい知識に基づいて判断すれば、ワクチン接種は、まれに重大な副反応があるにしても、効果の方がはるかに大きいと考えられています。

もちろんワクチン接種を強制するものではありませんので、最終的な判断は皆さん自身が決めることですが、私としては上記の理由のとおり、未接種の方には是非接種を受けていただきたいと思います。今後実施される自治体での接種、帰省先での接種、職域接種など自身が都合の良い環境で接種していただけたら幸いです。

みなさんに感染対策をお願いしてからすでに1年以上が経過し、多くのみなさんが感染対策に疲弊している頃だと思いますが、ここで手を緩めるわけにはいきません。

報道によると、今年から来年中の実用化を目指した効果の高い飲み薬の開発が急ピッチで進められているとも聞きます。コロナ禍以前の私たちの日常生活に戻るまで、もうしばらく感染対策を徹底した行動に心掛けてください。

令和3年9月1日

島根県立大学学長

島根県立大学短期大学部学長

清原 正義